

**令和 6 年度 利根町地域公共交通活性化協議会（茨城県利根町）
（地域公共交通計画策定事業）**

公共交通の概況・地域の特徴

利根町は、4つの地区（布川地区、文地区、文間地区、東文間地区）からなる都市構造を有している。また、日常生活圏が取手市や龍ヶ崎市などの周辺市町にまで拡大しており、町内の各地区から町内の拠点を結ぶこと、町外への移動に対応した公共交通網の検討が必要となる。

町内の公共交通は、路線バスが町内から取手駅や千葉県我孫子市の布佐駅に運行されており、福祉バス(福ちゃん号)が町内の公共施設、医療施設、商業施設などを循環しながら運行している。また、町内全域をカバーしつつ、一部町外にも接続するデマンド交通の「ふれ愛タクシー」を実施している。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

現在、高齢化や人口減少の影響を受け、公共交通全般の利用者が減少傾向にあり、地域公共交通の確保・維持が全国的な課題となっている。当町においても例外ではなく、自治体、運行事業者、地域住民が一体となって共有し、それぞれがWin-Winとなれるような効率的な運行方法や利用促進策等を展開し、少子高齢化の進行や働き方改革をはじめとした社会環境の変化といった、将来を見据えた交通環境の構築を目指す必要がある。

このため、当町の公共交通の運行状況や利用状況、さらには地域住民の特性や公共交通に対するニーズのほか、周辺市町の公共交通の今後の方向性といった、地域公共交通の利用や維持・存続に関わると考えられる様々な状況を広く調査し、現状を把握することが不可欠である。

各種調査結果を踏まえて、本町の公共交通の課題、今後の方向性等を整理した(3～4ページに掲載)。

アピールポイント

本計画に位置付ける施策・事業を“より住民ニーズに即したもの”とするため、町内4地区において住民ワークショップを開催し、施策事業(事務局案)について、地域住民の視点から意見をいただいた。その結果を踏まえて、施策・事業の修正を行った。

本計画書の作成と並行して、ネットワーク再編案の検討、施策事業の詳細スケジュールの検討を行っており、計画策定後の事業推進に向けた準備を行っている。

資料 3



面 積	24.86km ²
人口（R6.4.1時点）	15,271人
15歳未満	976人
65歳以上	6,907人
高 齢 化 率	45.23%

協議会開催状況

■第1回会議(令和6年7月)

- ・利根町地域公共交通計画(骨子案)
- ・住民ワークショップの開催

■第2回会議(令和6年10月)

- ・住民ワークショップの開催結果
- ・利根町地域公共交通計画(素案)

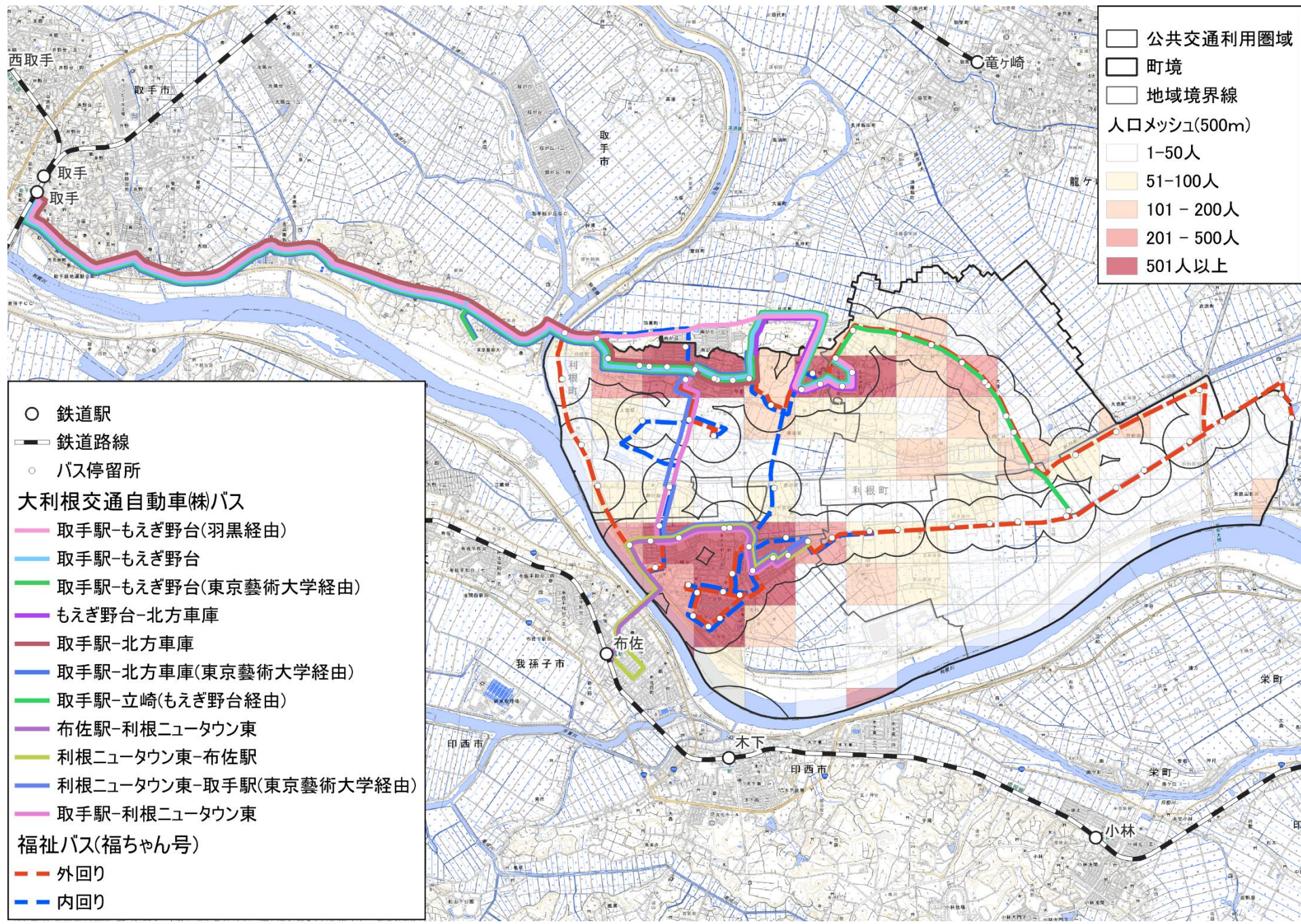
■第3回会議(令和7年1月)

- ・パブリックコメントの開催結果
- ・利根町地域公共交通計画(案)

■第4回会議(令和7年3月) ※実施予定

- ・利根町地域公共交通計画
※デザインを付け、製本したものを報告
- ・令和7年度スケジュールについて

【参考資料】地域の交通体系図



地域公共交通の課題(計画書素案より抜粋)

3. 地域公共交通が抱える課題

町の現状や上位関連計画を踏まえ、本町の地域公共交通が抱える課題を整理しました。

課題① 町内施設(商業施設・医療施設)への移動手段の拡充

- 町内において生活関連施設が立地しており、町民アンケート調査では買い物や通院における町内施設までの移動も確認されていることから、町内施設までの移動をより便利にするための検討が必要であると考えます。

課題② 町外施設(鉄道駅・主要医療施設)への移動手段の拡充

- 町民アンケート調査では、買い物・通院・通勤・通学における町外移動が多く、町民の生活圏が町外にも及んでいることが確認されました。具体的な行き先としては、鉄道駅(JR 取手駅、JR 布佐駅など)や大型商業施設(龍ケ崎市タイヨー、ヤオコー藤代店など)、医療施設(JA とりで総合医療センター、龍ケ崎済生会病院など)への移動が多い状況です。このことから、町外施設までの移動手段の拡充が必要であると考えます。

課題③ 公共交通の利用促進

- 公共交通利用者数の減少に伴い、運行便数も減少している状況です。このままでは持続的な公共交通サービスの提供が難しくなるため、利用促進を行う必要があると考えます。

課題④ 輸送資源の活用検討

- 交通事業者におけるドライバー不足やドライバーの高齢化、さらには「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準の施行(2024年(令和6年)4月〜)」によって公共交通の担い手が不足している状況です。このままでは持続的な公共交通サービスの提供が難しくなるため、近隣自治体のコミュニティバスや地域主体の交通サービスなどを活用しながら、公共交通の担い手を確保する必要があると考えます。

課題⑤ 高齢化社会に対応した移動支援

- 本町においては、人口減少・少子高齢化が進行しており、今後もその傾向は続くことが推計されています。現状では、75歳以上の町民においても自家用車で移動ができている状況ですが、将来的に自家用車を運転できない高齢者が増えていくことが想定されます。このことから、高齢者の移動支援を検討する必要があると考えます。

課題⑥ 福ちゃん号およびふれ愛タクシーの利便性向上

- 福ちゃん号やふれ愛タクシーが高齢者の移動を支えている一方で、公共交通利用者アンケート調査では、満足度が約30%であること、往復利用がされていないこと、増便などの要望が多いことなど、両サービスにおいても改善の余地があることが確認されました。これらのことから、さらなる利便性向上に向けた検討および取組が必要と考えます。

課題⑦ 便利で効率的な公共交通ネットワークの構築

- 都市計画マスタープランに示すとおり、本町では「利便性の高い都市形成に向けた道路・交通ネットワークの形成」を図るとしています。現在では、路線バス・福ちゃん号・ふれ愛タクシーなどによって公共交通ネットワークが形成されています。しかし、交通事業者ヒアリングでは「公共交通の乗継利用が少ない」という状況もあり、町内の公共交通を一体的に見直し、より便利でより効率的な公共交通ネットワークを構築する必要があると考えます。

地域公共交通の基本理念および計画目標、目指す姿(計画書素案より抜粋)

＜利根町地域公共交通計画の基本理念＞

みんなの生活を みんなで支える

持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

現在は、町内を運行する多様な公共交通サービスがみなさんの生活を支えています。公共交通サービス同士のつながりを強化することで、みなさんの生活をより強固に支えていきます。一方で、社会情勢の変化などにより、行政・事業者だけで公共交通サービスを維持することが難しい状況にあるため、その他関係者（地域住民・近隣自治体など）とも一丸となって公共交通サービスを支えることを目指します。

■計画目標① 町内の移動を支える公共交通サービスの提供

自宅から町内主要施設（スーパー・医療施設など）や交通結節点などへの移動手段を提供することで“町民の買い物および通院を支える”。

■計画目標② 町外への移動を支える公共交通サービスの提供

町内主要拠点や交通結節点などから町外主要施設（鉄道駅や医療施設など）までの移動手段を提供することで“町民の買い物・通院・通勤・通学を支える”。

■計画目標③ スマートに連携する公共交通ネットワークの構築

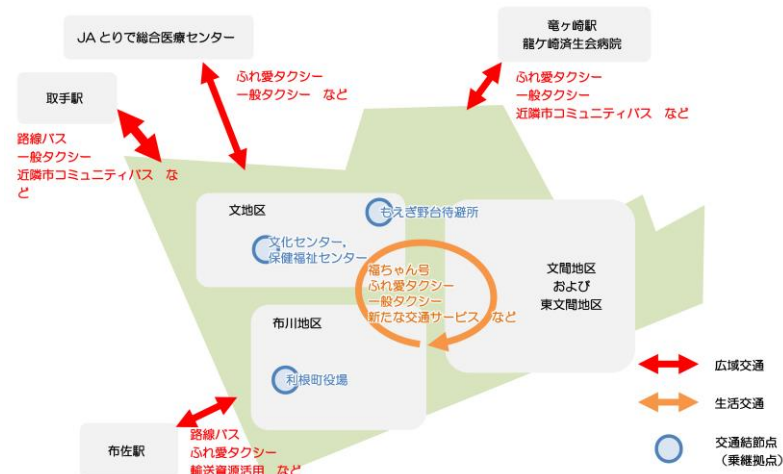
町内外の交通サービス連携による利便性向上を図り“生活を支える持続可能な地域公共交通ネットワークを構築する”。

■計画目標④ 地域とともに支える公共交通サービスの提供

利根町・交通事業者だけでなく、地域住民や近隣自治体とも連携することで、公共交通サービスを“みんなで支える”。公共交通を利用することで財政面を支える。公共交通の担い手となることで人材面を支える。

■計画目標⑤ 高齢者の生活を支える公共交通サービスの提供

高齢のため運転が難しい方、運転免許を返納した方、自家用車を持っていない方など、移動が不自由になりやすい高齢者でも快適に移動できる公共交通サービスを提供することで、“高齢者の生活を支える”。



類型	機能・役割	該当する路線・施設
広域交通	○本町と町外をつなぎ、主に通勤・通学や通院、買い物を支える公共交通サービス。	・路線バス ・ふれ愛タクシー ・一般タクシー など
生活交通	○各地域と町内施設や交通結節点をつなぎ、主に買い物や通院を支える公共交通サービス。	・福祉ちゃん号 ・ふれ愛タクシー ・一般タクシー ・新たな交通サービス など
交通結節点	○広域交通や生活交通が乗り入れ、公共交通同士、公共交通と自家用車などが接続する拠点。 ○快適な待合環境の整備、分かりやすい情報発信、ダイヤ調整などを行うことで、乗継利用をサポートする。	・利根町役場 ・もえぎ野台待避所 ・文化センター、 保健福祉センター など